

博物館をより安心・安全に楽しんでいただくためのお願い

*新型コロナウイルス感染症の状況により予定が変更になる可能性もあります。予めご了承ください。*ご参加の際はマスクの着用にご協力ください。当日体調に不安がある場合は参加をご遠慮ください。
<イベントについて> *講堂で行うイベントは、基本的に定員200名(先着順)です。
*【要申込】の表記がないイベントは申込不要です。
*【有料】(材料費や保険料など)の表記がないイベントは無料です。
*【要申込】のイベントは、原則として開催日の一ヶ月前から(一ヶ月前が休日の場合は翌開館日)から電話もしくは受付カウンターで受け付けます。定員に達したら受付を終了します。イベントの日時や内容に変更が出た場合、その都度ホームページなどでお知らせします。

企画展「写真展 福島、東北 写真家たちが捉えた風土／震災」関連イベント

- ⊕アーティストトーク「3人が捉えた福島／震災」 要申込 定員20名 有料 企画展観覧料
1/21(土)13:30~14:30 企画展示室 若根愛さん(写真家)、岩波友紀さん(写真家)、村越としやさん(写真家)
※それぞれの方法、表現で2011年以降の福島に関わり続けている3人の写真家。その思いとは。
⊕学芸員による展示説明会「写真展 福島、東北」 要申込 定員30名
2/25(土)13:30~15:00 体験学習室 小林めぐみ(当館学芸員)、川延安直(当館専門員)
※企画展担当学芸員が、展示の趣旨、展示作品の背景や見どころなどをわかりやすくお話しします。
⊕アーティストトーク「私の場合」 要申込 定員30名
3/12(日)13:30~15:00 体験学習室 畠山直哉さん(写真家)
※国際交流基金より寄贈された「写真展 東北」の9人1組の写真家の一人、畠山直哉さんに、展示作品のことや近年の活動、故郷・陸前高田のことなどをお聞かせします。

ミュージアムイベント

- ⊕会津の彼岸獅子
3/5(日)13:30~14:30 講堂 本滝沢獅子舞保存会のみなさん
※一足お先に会津の春をプレゼント!

キッズ・ファミリー向けイベント

- ⊕子どもミニミニはくぶつかん〜ものづくりとICTで遊ぼう〜
1/21(土)10:30~16:00 体験学習室 会津大学短期大学部幼児教育学科・会津大学コンピュータ理工学部のみなさん
※学生の皆さんによる読み聞かせ、ものづくり体験など、はくぶつかんは冬も楽しめがいっぱい。はくぶつかんをテーマにしたオリジナルゲームも登場ですよ!
⊕子どもミニミニはくぶつかん〜木のおもちゃで遊ぼう〜
2/17(金)~19(日)10:30~15:30 体験学習室
※会津農林事務所さんによる木のおもちゃコーナーが登場!はくぶつかんに親しむためのワークショップもあります。寒い冬も、はくぶつかんで楽しくすごそう!
⊕親子で探検!はくぶつかんのウラ側 要申込 定員5組15名(小学生を含むご家族)
2/19(日)13:00~14:00 館内バックヤード等(講堂集合)
※けんぱくのうら側(バックヤード)をご案内します!

ポイント展ミニ解説会 各回とも講堂 11:00~11:30

- ⊕「人物シリーズ⑤上杉景勝とふくしま」 2/5(日) 高橋充(当館副館長)
⊕「ふくしまの蔵手刀」 2/19(日) 山本俊(当館学芸員)

より深く知りたい!聴きたい! 講座いろいろ

- 【写真資料からみる会津の風景】解説会
1/15(日)13:30~14:30 講堂 長島雄一さん(資料整理ボランティア)・大里正樹(当館学芸員)
※昭和の奥会津をとらえた貴重な写真資料の全貌とその魅力に迫ります。
美術講座
美術放談5「欲だらけの美術」
1/27(金)13:30~15:00 講堂 小林めぐみ・塚本麻衣子(当館学芸員)・川延安直(当館専門員)
※長生きしたい、出世したい、子宝に恵まれたい、お金持ちになりたい、人のさまざまなお願いを受けとめてつくられた美術品は、欲だらけ!?
特別講座
「詩人のいる博物館 文学とミュージアム②文学館は建物ではない、出来事だ」
<会場>定員200名(先着順) <オンライン> 要申込 定員100名
1/29(日)13:30~15:30 講堂
和合亮一さん(詩人)・萩原朔美さん(萩原朔太郎記念・水と緑と詩のまち前橋文学館長)
※詩人・萩原朔太郎の孫で、演出家、映像作家と多方面に活躍する萩原朔美さんをお招きし、前橋文学館を舞台とした多彩な活動をご紹介します。
民俗講座
「集まれ彼岸獅子!~シシのお面を作ろう~」 要申込 定員15名
2/26(日)10:30~ 体験学習室 山口弘(当館学芸員)
※獅子舞について学びながら、オリジナルのシシのお面を作ります。
特別講座
「詩人のいる博物館 文学とミュージアム③言葉と生きる 文学・東北・震災」
<会場>定員200名(先着順) <オンライン> 要申込 定員100名
3/18(土)13:30~15:30 講堂 和合亮一さん(詩人)・佐伯一美さん(小説家・仙台文学館館長)
※言葉で暮らしたのこを表現してきた佐伯一美さん。言葉と生きる日々のこと、震災と向き合った仙台文学館の展示、文学が表現した震災について伺います。
美術講座
美術放談6「折り紙付きー美術の価値づけ」
3/24(金)13:30~15:00 講堂 小林めぐみ・原惠理子(当館学芸員)・川延安直(当館専門員)
※現代では人の評価が高いことも「折り紙付き」と言いますが、果たして本来の意味である美術品の価値の保証では、どのような背景でどんな折り紙が付いていたのでしょうか。
考古学講座
「勾玉を作ろう」 要申込 定員16名 有料 200円(材料費)
3/25(土)13:30~15:00 実習室 田中敏(当館専門員)
※古代のアクセサリー作り挑戦!

【1~3月のポイント展】

- *ポイント展は、収蔵品を中心に、特別に公開する資料などを1点から紹介する小規模展です。
●鉄道と地域の発展 ~1/20
※絵葉書や観光パンフレットなどから鉄道と地域の発展を振り返ります。なじよな13号では、展示会期を1/23までと表示していましたが、正しくは上記のとおりです。
●3Dふくしま展 ~2/26
※地形模型をつかったプロジェクションマッピングで「ふくしま」を学びます。
●人物シリーズ⑥上杉景勝とふくしま 1/5~2/28
※上杉氏といえは新潟か米沢なのに「ふくしま」とは?どうして景勝、展示で教えて!
●ふくしまの蔵手刀 2/11~3/19
※県内各地から出土した古代の刀剣・蔵手刀をご紹介します。

三の丸からプロジェクト 体験型プログラム
若松城三の丸にある当館をスタート地点に、会津地域を楽しんでいただくための「三の丸からプロジェクト」。冬はじっくり雪国のものづくり文化に親しんでみませんか。
「ミニトレをつくろう〜蒔絵に挑戦!」
要申込 定員15名 有料 2,500円(材料費等)
1/22(日)13:30~15:00 体験学習室 八木由紀子さん、佐藤淳さん(蒔絵師)
対象・準備物:小学生以下は保護者同伴。図案は準備しますが、描きたい絵があればコピー(約7cm×7cm以内)をご持参ください。本漆を使用しますので、かぶれ防止のため手袋を用意します。漆に弱い方はご注意ください。汚れてもよい服装でご参加ください。
※名刺益(17cm×14cm)に本漆で絵を描き、金銀粉を蒔いてみます。漆の美しさに触れてみましょう。
「会津本郷焼の器をつくろう」
要申込 定員8名 有料 2,000円(材料費等)、送料別途
1/28(土)13:30~15:30 実習室 宗像利嗣さん(宗像窯9代目)
対象・準備物:小学5年生以上。汚れてもよい服装でご参加ください。エプロン、タオルをご持参ください。作品は焼き上げて、1~2か月後に発送致します。
※会津本郷焼と宗像窯の歴史についてお話を伺ったあと、実際に器づくりを体験します!
「会津木綿でじんわりほかほか小豆カイクをつくろう」
要申込 各回定員10名 有料 2,000円(材料費等)
2/11(土・祝)①13:30~、②15:00~ それぞれ1時間程度 体験学習室 田崎薫さん(株式会社はらっぱ)
対象:小学生以上(小学生は保護者同伴)。
※病を癒ふのも楽しい会津木綿。好みの病で、寒い時期にぴったりな、自分だけの小豆カイクをつくりましょう。心も体もほっこりしますよ。
「またたびで花結びブローチをつくろう」
要申込 各回定員5名 有料 1,800円(材料費等)
2/23(木・祝)①11:00~12:00、②13:00~14:00 体験学習室 市川里美さん(またたび工房・産里)
※奥会津の生活用品をつくるのに使われてきたまたたび、花結びに結んで、ブローチを作ります。初めてまたたびにふれる、ものづくりを体験する方も参加出来ます。
「またたびザルをつくろう」
要申込 定員5名 有料 2,500円(材料費等)
3/4(土)10:00~14:30 途中でお昼休憩を含みます 体験学習室 菅家豊さん(編み組細工職人)
※またたびを使ってザルを作ります。奥会津で昔から伝えられてきた手仕事の技術を体験できます。多少ものづくりの経験のある中級者から上級者の方におすすめです。

2023年1月・2月・3月イベントカレンダー

Calendar table with columns for month, day, and event status (closed, event day).

観覧料
■常設展観覧料 一般・大学生280円(20名様以上の団体は220円)
■企画展観覧料「写真展 福島、東北 写真家たちが捉えた風土／震災」
一般・大学生800円(640円)、()内は20名以上の団体料金。
*企画展チケットで常設展もご覧いただけます(企画展開催中1回限り有効)。
*高校生以下は常設展・企画展とも無料です。
■年間パスポート 2,000円
購入日から一年間、当館主催の企画展や常設展が何度でもご覧いただけます。

Map of the museum area showing JR松ヶ城駅, 会津若松IC, and surrounding roads. Includes a list of nearby facilities like JR松ヶ城駅 and a wheelchair accessible parking area.

福島県立博物館 Fukushima Museum
開館時間9:30~17:00(最終入館は16:30まで)
お問い合わせ TEL0242-28-6000 FAX0242-28-5986
HP https://general-museum.fcs.ed.jp

Vol. 14 2023 1月~3月号



Vol. 14 2023 1月~3月号

なじよな Vol. 14 2023 1月~3月号

Vol. 14 2023 1月~3月号

表紙撮影:沼波友紀

冬の企画展

写真展 福島、東北 写真家たちが捉えた風土／震災

会期:2023年1月21日(土)～3月19日(日)

会場:企画展示室
観覧料 一般・大学生800円(640円)、高校生以下無料 ()内は20名以上の団体料金。
企画展チケットで常設展もご覧いただけます(会期中1回限り有効)。
主催:福島県立博物館

1部 東北 風土・人・暮らし

知らなくても、なつかしい。

2011年3月、東日本大震災発生。震災のニュース映像が全世界に流れ、おびただしい報道写真が配信されました。…被災地としてではない、東北の姿とは。2012年3月、北京を皮切りに被災状況ではない東北の魅力、特徴を写し出した写真123点の公開がはじまり、世界43カ国で開催された巡回展は2021年に閉幕しました。長い旅を終えた写真たちは国際交流基金から当館に寄贈され、改めて福島の地で、皆さまをお待ちしています。古くは1943年に撮影されたものから2011年のものまで、10組の写真家がファインダー越しに見つめた東北。海外の方もおもわず「なつかしい」とつぶやく写真からは、土地のおいが立ち上がります。いま、皆さまの目にはどのようにうつろうでしょうか。

千葉 禎介
小島 一郎
芳賀 日出男
内藤 正敏
大島 洋



芳賀 日出男 羽山さもりの「田植え」行事 福島県福島市松川町

林 明輝
田附 勝
仙台コレクション
津田 直
畠山 直哉



林 明輝 プナの森の緑の映り込み



千葉 禎介 春さん 大雄村

2部 福島—震災

いのちと記憶

いっぽう震災は、多くの写真家に衝撃をあたえ、福島に目を向けるきっかけともなりました。2部では、震災をきっかけにそれぞれの視点で福島の変化を撮り続け、今も活動を続ける3人の写真家の作品をとりあげます。



村越 としや 2016年 福島県須賀川市 (当館蔵)



岩波 友紀 紡ぎ音 #078 請戸の田植踊 (個人蔵)



岩根 愛 A NEW RIVER (個人蔵)



昭和61(1986)年の開館当時から当館に勤務している相田さんと田中さん。3月には39年の学芸員生活を終えます。共に1984年4月に県庁文化施設整備室に着任し、開館前の準備段階から博物館に携わり、今日に至るまで、博物館の運営に中核的に関わってきました。お二人に博物館の思い出などを聞きました。

Q1 39年間を振り返って、印象深かったことは何ですか？
相田さん：開館準備当時のことは忘れられません。博物館の創設メンバーとして、自分たちの動機先を一から創ったことです。何から何まで初めてのことがばかりで、永遠に続くように思われるほどの忙しさでしたが、博物館を創ったという自負が無意識の中で育ちました。
田中さん：やはり開館当時のことです。博物館に必要な物、例えば湯呑1つからも選び、さまざまなものを購入して揃えていきました。展示模型や複製資料のチェックのため遠方出張したり、資料借用のため県内中を回ったりしました。残業が続きましたが、楽しかったです。
Q2 学芸員の仕事をして良かったことは何ですか？
相田さん：どんなに大変であっても興味のあることをやらせていただき、大学で学んだことをダイレクトに仕事に生かされたことです。仕事が面白いと思えたことが幸でした。
田中さん：いろいろな方と出会えたことです。企画展の準備でも、館内外の多くの方に協力していただきました。この仕事を通し、人とのつながりを感じることができました。
Q3 これからの博物館に求めることを教えてください。
相田さん：博物館にとって大切なものは資料です。基本的に忠実に、資料を集め、資料に基づいた活動を続けてほしいです。今、博物館は活動の幅を広げていますが、博物館がもつ本質を大事にしながら、さらに活動を充実させてほしいです。
田中さん：来館者の視線を忘れずに新しい技術をどんどん活用して、来館者にとって最善と思えるような、次世代の博物館になってほしいですね。
開館当時から勤める職員としては最後の世代となるお二人。お二人が蓄積された仕事と、博物館へのエールを大切にしながら、これからも博物館活動を続けていきます。ありがとうございました！

きんぎょはじょな 『なんじゃこれ？ 博物館所蔵品より 編』
今回は、博物館にある おもしろい宝物を紹介するよ！
取原庫にもたくさん資料があるんだよ。
わーい！ レッゴー！

テーマ展 吉祥 ～会津のめでたいものたち～

会期:2022年12月21日(水)～2023年2月12日(日)
会場:部門展示室 歴史・美術 常設展示料金でご覧いただけます。

あなたはどちらがお好き!?
永海の大黒様 VS 遠澤の寿老人

会津のめでたいもの尽くして新たな年を寿ぎます。繁栄、長寿、恋愛…みんなの願いが具現化されためでたいものたち。恵比須、大黒、寿老人、松に鶴、桐に鳳凰、松竹梅、お気に入りの作品を探せば、あなたの願望もあらわになってしまうかも!? 卯年を迎えるにあたり、うさぎモチーフの作品もご紹介します。関連講座・美術放談5「欲だらけの美術」(1月27日開催)もお聞き逃しなく…!

佐竹永海筆「大黒天図」(当館蔵) 加藤遠澤筆「寿老人図」(当館蔵)

テーマ展 美しき刃たち 会津編

会期:2023年2月25日(土)～4月2日(日) 会場:部門展示室 歴史・美術 常設展示料金でご覧いただけます。

企画展「美しき刃たち」(2018年)の開催以来、当館では毎年、そのタイトルを引きつぎ刃の魅力を伝えるテーマ展を開催してきました。テーマ展としては4回目となる今年の「美しき刃たち」は会津編です。初公開となる三善長道の刀(個人蔵、当館寄託)のほか、十一代古川兼定や会津道展など、会津を代表する刀工の刀十数振がならびます。

企画展「美しき刃たち」以降、企画展はもちろんテーマ展でもライティングに注力し、刃文などが良くご覧いただけるようにしています。さらに、会場となる部門展示室「歴史・美術」は、「三の丸からプロジェクト」の一環で昨年、黒を基調とした空間にリニューアル(本号の表紙にご注目)。刀の美しさが際立つ落ち着いた空間で、心ゆくまでお楽しみください。

関連講座・美術放談6「折り紙付き-美術の価値づけ」(3月24日開催)もご期待!

秋の企画展「名君の大名文化」でもライティングを念入りに行いました

刀 銘 陸奥大掾三善長道 (個人蔵、当館委託)

テーマ展「写真資料から見える会津の風景」も引き続き開催中！ 3月19日まで。

1 不思議 なんじゃこれ？
入れ物かな？ ふたがあるね
答え 土に埋めるんだよ！
【陶製外筒(複製)】 未来の人にお経を届けるためのタイムカプセルなんだよ。(平安時代)

2 不思議 なんじゃこれ？
ネジみたい!!
答え いろいろな化石に会いに来てね!
【ジャイロリス】 新生代の節足動物(ジャコなどの巣穴が化石になったんだよ)。

3 不思議 なんじゃこれ？
てっか!
答え 魚を捕る道具
魚を捕る道具
下ご 小さなドワを展示室で見つけてね!
みんなも、おもしろい展示品を見つけに来てね!